慣用句(上級)プリント1（ルビつき）

月　日　名前

問1　足が痛む祖母に（　）を貸して、駅まで歩いた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 肩
2. 腰
3. 足
4. 鼻

問2　苦しい言い訳を並べて（　）口上を述べる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 前
2. 逃げ
3. 披露
4. 切り

問3　「二の舞を演じる」の意味はどれですか？

1. 他人の真似をして滑稽な振る舞いをする
2. 舞台で二番目の出し物を披露する
3. 前任者や他人の失敗と同じ失敗を繰り返す
4. 一度成功したことをもう一度再現する

問4　「筆が立つ」の意味はどれですか？

1. 筆を立てて置くことができる
2. 文章を書くのが非常に遅い
3. 書道の腕前が非常に高い
4. 文章を書く能力が優れている

問5　「息が詰まる」の意味はどれですか？

1. 驚きのあまり、声を出そうとして喉が詰まる
2. 長い時間じっとしていて、体がこりかたまってしまう
3. 緊張や重苦しい雰囲気で、心理的に圧迫感を感じる
4. 仕事が終わって、ほっと安心して気持ちが軽くなる

問6　「尻切れとんぼ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 議論が尻切れとんぼのまま解散してしまった。
2. 彼は尻切れとんぼな性格で、いつも最後までやり遂げる。
3. 尻切れとんぼの虫が庭を飛んでいる。
4. 尻切れとんぼの糸をハサミで切った。

問7　「面目を施す」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 面目を施すほど、彼は周囲から厳しく批判された。
2. 失敗ばかり重ねてしまい、面目を施す機会を逃した。
3. 彼は面目を施すために、厚い化粧で顔を隠した。
4. プロジェクトを成功させ、彼はようやく面目を施した。

問8　「影を落とす」の意味はどれですか？

1. 自分の存在を隠して目立たなくすること
2. ある事柄が後まで悪い影響を及ぼすこと
3. 過去の栄光を思い出して懐かしむこと
4. 他人の成功を妬んで邪魔をすること

問9　「気が咎める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 友人に嘘をついてしまい、どうにも気が咎める。
2. 試験で気が咎めたので、良い点数を取ることができた。
3. 彼は気が咎める性格なので、すぐに怒り出す。
4. 気が咎めるほど、彼は熱心に仕事に取り組んだ。

問10　「水を打ったよう」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 庭に水を打ったようで、とても涼しい気分だ。
2. 突然の発表に、会場は水を打ったようになった。
3. 彼は水を打ったような顔をして、何も言わなかった。
4. 水を打ったような騒ぎで、近所迷惑になっている。

問11　会議中に隣の同僚が（　）を引いて、私に合図した。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 襟
2. 帯
3. 袖
4. 裾

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます